学校を応援したーい 21

地域に支えられている体験活動

野木町立野木第二中学校　教諭　山田　不朽子

本校では、地域の外部講師による二つの体験活動を行っています。伝統や技術を習得するための努力や苦労を知ること、講師の方との交流を深め、幅広いものの見方・考え方を養い、自己の生き方を考えることをねらいとしています。２０年近く続く歴史のある体験活動で、外部講師の協力なくしては成り立ちません。その活動の一部を紹介します。

一つ目は２・３年生が約半年間学ぶコース別総合です。和太鼓・グラウンドゴルフ・漫画制作など６講座から選択します。講座の日は、総勢２０名程の方が来校し、大変活気に溢れます。特にグラウンドゴルフの方は、暑い夏でも早くから校庭の整備・準備を行っていて、そのパワフルさに圧倒されてしまうくらいです。

二つ目は、年１回行う全学年縦割りの体験活動です。茶道・藍染・レザークラフト・空手・三味線・着付け・AED 講習など１６講座。総勢４０名程の講師の方にお世話になります。普段できない貴重な体験ができるので、生徒は大変楽しみにしているのですが、逆に講師の方から「今年も楽しみに待っていました。」と言われることも多く、本当に地域に支えられているなと実感します。改めて感謝の気持ちでいっぱいです。

リレー「となりの社教主事 51」

９か年を見通した育ちと学び
～「つなぐ」「そろえる」「つどう」～

小山市立絹義務教育学校　教諭　飯塚　翔

平成２９年４月に県内初の義務教育学校として開校し、今年度で５年目を迎える本校に赴任して１年が経とうとしている。赴任した当初の会議の中で、先生方の説明や資料から「つなぐ」という言葉がたくさん出てきた。小中一貫教育のキーワードとして使われていたわけだが、その時に私の記憶から甦ってきたのは、２年前の夏、何度も何度も聞いた「つながり」という言葉だった。社会教育主事講習の中で、人と人との「つながり」の大切さ、その「つながり」をコーディネートしていくのが社教主事の役目であることを学んだ。本校は、９年間の学びの「つながり」、９学年の人の「つながり」、そして本場結城紬を中心としたふるさと学習を行う上での地域の方々との「つながり」など様々な「つながり」に溢れている学校である。この「つながり」をコーディネートしていく本校職員の一人として、今後も本校の児童生徒の成長のためにできることを精一杯取り組んでいきたい。

雑感

絶品のおにぎりを目指して

栃木市立大宮南小学校　教諭　柏原　益志

社会教育主事講習では、学校と地域はお米一粒一粒がほどよくくっついている「おにぎり」のように連携を密にして協働していくことが大切であると学んだ。

今の学校では、学習支援や環境整備において多くの地域ボランティアに学校を支えていただいている。今年度は、教職員の困り感を受けて新たな活動も取り入れることができた。また、地域ボランティアだけでなく、保護者ボランティアにも一緒に入っていただき、子どもが卒業しても地域ボランティアとして参加できるような取り組みも始めている。

実践を重ねる中では、ボランティアからの不満が出ることもある。そんな時、「協働とはすばらしいことだが、楽なことではない」と主事講習で習ったことを思い出す。行き詰まった時にはお互いが前向きに話し合い、振り返りながら、皆が気持ちよく活動できるよう改善していく必要がある。実践の中でＰＤＣＡサイクルの大切さを実感している。今後も、地域の方と「絶品のおにぎり」になれるようにつながり、よりよい実践に努めていきたい。

New Face　＊R3 年度社会教育主事講習を修了した新たな仲間を紹介します!!

社会教育主事講習を終えて

小山市教育委員会事務局生涯学習課　主事　大巴　樹音

本講習では、用語の定義や法令等の基礎的な部分から最新事例に至るまで、非常に多くの視点から教えをいただき、社会教育の奥深さに触れることができました。この講習に参加させていただいたことに感謝するとともに、得た学びを更に深め、広い視野をもちながら業務に活かすことができるよう、自己研鑽に励んでいきたいと思います。

問合せ
発　行　下都賀地区生涯学習研究会
事務局　下都賀教育事務所ふれあい学習課内　TEL　0282-23-3422　/　FAX　0282-23-3502
E-mail　shimotsuga-kyouiku@pref.tochigi.lg.jp

ホームページでもご覧になれます。　ふれあい学習課　情報誌・機関紙　で検索してください。